

# 論壇

## 日本で開催される意義

カナダ東部の大都市トロントにあるトロント大学が主催するG20に関する会議に参加してきた。

来月に大阪でG20の会議が行われる。G20とは、日米欧やカナダのような先進国だけでなく、中国・インド・ブラジル・サウジアラビアなどの新興国も参加する首脳会議だ。世界的な金融危機であるリーマン・ショックが起きた直後の2008年に米国で第1回の首脳会議が開催されてから、今年の大阪の会議で14回目の会合となる。

トロント大学ではこのG20の会議を継続して分析する研究プロジェクト

伊藤 元重 (国際経済学) 学習院大教授

エクトが続けられてきた。その流れで今回の会議が開催されることになった。G20に期待される役割、大阪の会議で取り上げられるべきテーマなどが、多くの専門家によって議論された。

こうした会議の議論を聞いていて、G20のような国際会議が日本で開かれることの意義を再認識し

## 地球規模の難題 G20で議論を

た。より多くの人にこの会議に関心を持ってもらいたい。

言うまでもなく、いま世界は多くの難しい問題に直面している。米中の貿易戦争は厳しさを増しているように見える。米中間の交渉がまとまるかどうかの大きなポイントが、トランプ大統領と習近平主席のトップ会談が実現するかだ

うかにかかっている。その舞台として、大阪の会議の場が候補に上がっている。もちろん、両首脳がG20の会議に出席するという前提ではあるが。

安倍総理はG20での主要国の積極的な参加を促すため、精力的に海外を訪問してきた。WTO(世界貿易機関)の改革の方向性や、

情報技術の進展によって広がる巨大なデータの利用のあり方について、問題提起をしている。これらの問題は多くの国の合意をまとめるのが難しいものであるが、多くの国を巻き込んだ場での議論が進むことが求められる。G20はそうした議論の場として重要な存在である。

地球気候変動やプラスチックごみの問題など地球規模での環境問題も、世界が直面する深刻な問題である。地球気候変動については国連の下でパリ協定が成立したが、米国の離脱など後退している面もある。グローバルな問題への対応を進めるためには、国連の取り組みだけでなく、他の多国間の協議の場を活用する必要がある。G20がそうした場として重要であることは言うまでもない。

## 市民への伝わり方 重要

G20のような国際的な首脳会議は、一般の市民にはどのような議論が行われているのか分りにくい。異なった立場の国の首脳が集まって難しい問題について議論するので、明快な形で合意が成立するものでもない。首脳が集ま

ってそれぞれ勝手な発言をしていて、何も成果がないのではと考えている人も少なくないだろう。たしかにそうした面はある。ただ、こうした会議の場で主要国の首脳が一堂に会することの意義は大きい。会議の中での議論の内容もさることながら、それが外の市民社会にどのように伝わっていくのかが重要である。貿易問題、環境問題、人権問題、情報利用の問題などは、政治の世界の議論だけでなく、私たちの生活に直結する重要なテーマである。G20のような国際会議の場でのような議論が行われるのかを知ることが、今後のこれらの問題についての世論形成にも大きな影響を及ぼすはずだ。G20の会議の内容を伝えるマスコミの責任も大きい。

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。